

①規格外や低未利用品の有効活用

## ねぎ外葉を使ったねぎ挟み皮等の惣菜ブランドの開発、製造及び販売

ほぼ全量が廃棄されている小ねぎの外葉を用いて惣菜素材「ねぎ挟み皮」や外葉惣菜の開発と販路拡大を行う。

### 連携体

農林漁業者

有限会社弦本農園(法人番号4320002021660、農業)

外葉の活用に向けて新たな有機肥料の使用を含め、施肥管理、水分調整を改善し、従来は処分していた外葉を食品素材として、新たに定める規格・ロットに沿って洗浄、カット等を行い出荷する。

中小企業者

株式会社八紘(法人番号4320001014079、食料品製造業)

食味の調整ノウハウを活用し、外葉を用いた惣菜素材などを製造するとともに、小売チェーンなどとの既存取引先を含めた飲食店、小売店などへの外葉惣菜の販売を行う。

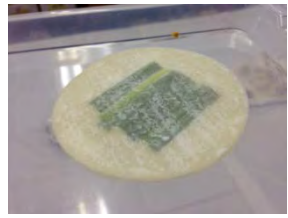
連携参加者

サポート機関等

大分県(法人番号1000020440001)  
(独)中小企業基盤整備機構 九州本部(法人番号2010405004147)

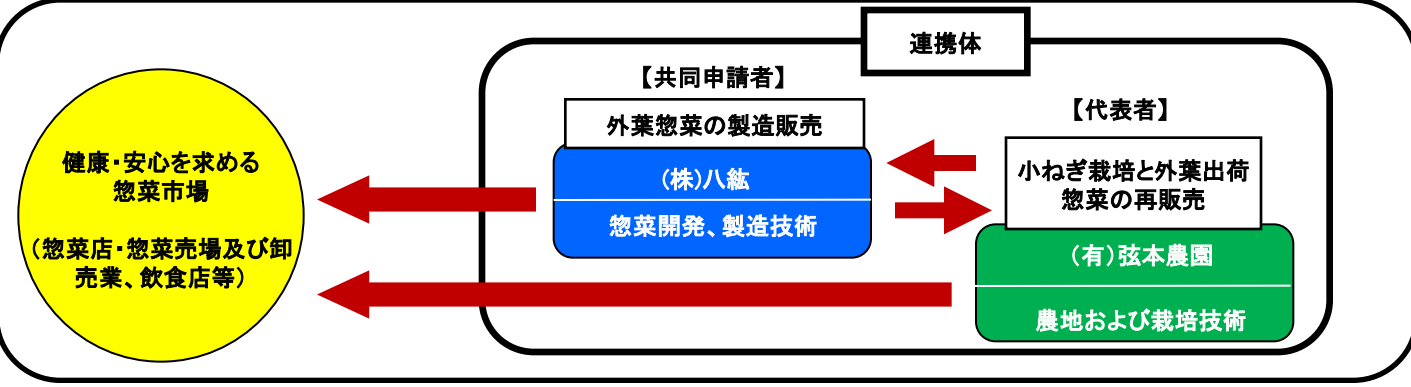
### 連携の経緯

市場流通できずに廃棄していた外葉の活用と差別化商品による小ねぎのブランド価値向上を目指していた(有)弦本農園と、既存顧客から鮮度保持が可能な惣菜原料や利便性の高い惣菜の取り扱いに対して要望が増えていた(株)八紘の課題が一致し、連携に至った。



### 連携に当たっての課題や工夫等

(有)弦本農園は廃棄していた外葉を差別化できる商品にするため、施肥管理、水分調整を改善することで、これまで以上にビタミン、ミネラルが豊富な小ねぎを生産する。(株)八紘は、料理研究家などを活用し、(有)弦本農園と共同開発したねぎ挟み皮などの惣菜素材をもとにさらなる外葉惣菜の開発を行い、現事業の中心である青果卸販売から収益性の高い惣菜製造販売への事業拡張を図る。



### 連携による効果

農林漁業者

5年で2,888万円の売上高増加、外葉4トンの有効利用

外葉の活用が図られるだけでなく、惣菜によるブランド価値向上が農業経営の安定に貢献すると期待される。

中小企業者

5年で4,302万円の売上高増加、収益性の改善

外葉活用をきっかけとした惣菜開発、製造への事業展開を図ることにより売上の増加と収益性の改善が期待される。

### 代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社弦本農園  
TEL：0979-31-0411  
E-mail：m.y.t.s.a.happy.negi@polka.ocn.ne.jp

所在地：大分県中津市赤迫208番地3  
FAX：0979-31-0411  
ホームページ：http://tsurumoto-farm.com